

天塩川水系河川整備計画（原案）H17.7	：天塩川かわづくりの提言（平成14年3月） ：流域委員会における意見、 ：寄せられた意見
<p>2-2 河川の維持の目的、種類及び施行の場所</p> <p>2-2-1 洪水等による災害の発生の防止又は軽減に関する事項</p> <p>(1) 河川情報の収集・提供</p> <p>河川の維持管理を適切に行うため、河川現況台帳を整備・保管する。水文、水質、土砂の移動状況、土地利用などの河川管理に資する情報とともに、良好な河川環境を維持するため、河川水辺の国勢調査等により河川環境に関する情報を適切にモニタリングする。なお、河川情報の収集にあたっては、市民団体や地域住民等と連携し、地域固有の情報収集に努める。収集した情報は、長期的な保存・蓄積や迅速な活用が図られるよう電子化を進める。</p> <p>また、既存の無線システムや光ファイバー網を活用し、雨量や河川の水位、ダムの貯水位、放流量などに加え、画像情報や堤防をはじめとする河川管理施設の挙動に関するデータなどの河川情報を収集する。</p> <p>収集した河川情報については、平常時の河川の利用や洪水時の防災情報として活用するため、光ファイバー網やインターネットなどの情報通信網等を用い、あわせて河川防災ステーション等と連携して、関係機関や住民に幅広く提供し、情報の共有に努める。</p> <p>さらに、河川整備にあたっては必要に応じて事前・事後調査を実施し、その影響の把握に努め、調査、研究成果等の保存・蓄積を図る。</p> <p>(2) 河川の維持管理</p> <p>堤防や高水敷及び低水路については、現状の河川環境と河川空間の利用、周囲の土地利用等を踏まえながら、洪水による被害が防止され、河川が適正に利用され、流水の正常な機能と河川環境が維持されるよう総合的な視点で維持管理を行う。</p> <p>また、定期的な河川巡視や市民団体との連携したカヌーによる河川パトロール等により、沈下や漏水などの堤防の異常、河川管理施設の破損、土砂の堆積、ゴミや不法投棄などの異常を早期に発見し、河川管理上支障となる場合は、速やかに必要な対策を実施する。</p>	<p>天塩川に係る河川情報の収集や整備、提供については、地域の協力も得ながら内容の充実を図る必要がある。</p>

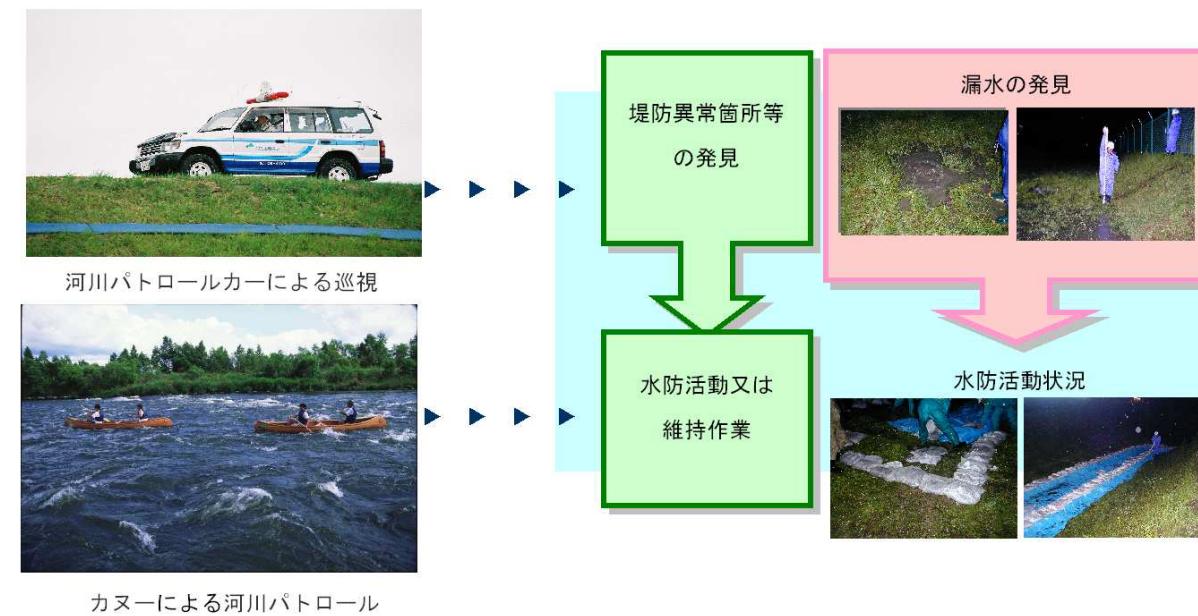


図2-12 河川巡視のイメージ図

## 1) 堤防及び河道の維持管理

## a) 堤防の除草・維持管理

堤防の機能を維持するとともに、亀裂・法崩れなどの異常を早期に発見するため、堤防の除草を行う。除草時期、頻度は、堤防植生の状況や周辺の環境を考慮して適正に選定する。

河川巡視等により、堤防天端、法面、取付け道路、階段及び堤脚部等に破損が確認された場合は、速やかに補修を行う。

特に天塩川下流の堤防は軟弱地盤上に築造されているため、定期的に現地調査を行い、異常の早期発見に努め、必要な対策を実施する。



堤防天端補修前



樋門補修前



堤防天端補修後



堤防除草

表2-5 堤防の延長

河川名	延長
天塩川	220.0 km
名寄川	35.1 km
風連別川	6.4 km
雄信内川	4.6 km
問寒別川	22.2 km
2条7号区間 円山ウブシ川外27河川	41.7 km

平成16年3月現在

## b) 河道内樹木の管理

河道内の樹木は、生物の生息・生育環境や河川景観を形成するなど、多様な機能を有している一方で、洪水時には水位の上昇や流木発生の原因となる。

このため、河道内樹木の繁茂状況を隨時把握し、洪水の安全な流下に支障とならないよう河道内樹木を適切に管理するものとする。

樹木の管理にあたっては、間伐等のほか、樹木が繁茂する前に伐採を行うなど極力、生態系への影響を小さくするよう努める。

なお、樹種や樹木の大きさ、位置や密度などを踏まえた効果的な樹木管理方法について、引き続き調査・検討を進める。

樹木が少ない場合は、計画高水位以下で安全に洪水を流すことができる。

凡 例	
樹木	保 全
樹木	伐 採



洪水流下の支障となる樹木が繁殖すると、河積が小さくなり水位が上昇する。



計画高水位以下に水位を保つよう適切に樹木の管理を実施する。



図2-13 河道内樹木の管理イメージ図

流下能力確保のための河畔林管理については、樹木の成長や樹種、鳥や魚等の生育環境を考慮して検討すべきである。

河道内樹木の維持管理については、治水や環境上の機能や影響を考慮し、適正に管理する必要がある。

河道内の植生のほとんどがヤナギ林や草地・牧草であり、本来の川の自然植生はほとんどなく、保全だけではなく、もう少し豊かにする方法を考えなければならない。

現状の河畔林はヤナギ林が多く、本来の自然環境とは変質しているので、河畔林の良い面だけではなく、悪い面も記載してほしい。

倒伏した河道内の樹木は、洪水時に流出し下流の漁業等に被害を及ぼすので、適切な対策をとることが必要である。

天塩川の下流から上流までの両側の無立木地に広葉樹を植栽する。

天塩川水系河川整備計画（原案）H17.7	: 天塩川かわづくりの提言（平成 14 年 3 月） : 流域委員会における意見、 : 寄せられた意見
<p>c) 河道の維持管理</p> <p>定期的に河川巡視や縦横断測量等を行い、河川の利用状況、土砂堆積状況や河床低下などの河道状況を把握するとともに、その状況に応じて適切に措置する。</p> <p>土砂や流木が堆積し洪水の流下の支障となる箇所は河道整正を実施し、河床洗堀により既設護岸や床止が破損するなど、機能に支障を及ぼすような事態を確認した場合は、適切な方法により補修する。</p> <p>また、地域住民による河川愛護モニターの配置やN P O 等との連携により、維持管理体制の強化を図る。</p> <p>2) 構造物等の維持管理</p> <p>ダム、樋門・樋管、排水機場などの構造物が所要の機能を発揮できるように定期的に巡視及び点検・整備を行う。</p> <p>巡視により、河川管理施設等の状況、河川利用の状況、河岸や河川空間の状況等を把握する。</p> <p>なお、樋門の操作は、地先の実情に詳しい地域の方に管理を委託しているが、今後、樋門の操作員の高齢化や人員不足が予想されるため、施設の統合や集中管理による遠隔操作化などの省力化、高度化を図るなど、より確実な河川管理施設の操作を行っていく。</p> <p>岩尾内ダムについては、降雨や貯水池の状況を把握し、治水、利水に寄与するよう適切な維持管理を行う。また、小放流設備の整備を行い、関係機関と連携し、下流の河川環境の整備と保全を図る。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  <p>内渉救急内水排水場</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>内渉樋門</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>砺波樋門</p> </div> </div>	<p>河川管理施設や許可工作物の適正な操作、管理については、施設間の情報伝達機能の充実を図る必要がある。</p> <p>天塩川の観光を考えた場合、上流は水量がなく、下流は水量が豊富であるが、良い調整方法はないか。</p> <p>天塩川上流において、7月以降の渇水期に川に水が流れない部分が生じたり、水の利用が満度に行われていないので、ダムの水調整により流況の改善が必要である。</p> <p>岩尾内ダムの下流に水が流れていない区間があるが、岩尾内ダムがもう少し柔軟に対応できれば、渇水時の対策ができるのではないか。</p> <p>観光イベントとして、「天の川下りイカダコンテスト」が過去 15 回開催されている。そんな時思うのがダムによる水量調節である。増水時はともかく渇水時は岩尾内ダムで放流してもらえば、などと勝手に考えている。</p>

表2-6(1) 主な河川管理施設等（堤防を除く）

河川名	河川管理施設	箇所数
天 塩 川	ダム	1箇所
	樋門・樋管	26箇所（下流） 110箇所（上流）
	救急内水対策排水場	4箇所
	水文観測所	雨量観測所 15箇所 水位・流量観測所 15箇所 水質観測所 1箇所
	床止	1箇所
	河川防災ステーション	1箇所（土別～建設中）
サロベツ川	水文観測所	雨量観測所 1箇所 水位・流量観測所 4箇所
温根別川	水文観測所	雨量観測所 1箇所
下エベコロベツ川	水文観測所	水位・流量観測所 1箇所
円山ウブシ川	樋門・樋管	1箇所
	樋門・樋管	4箇所
	水文観測所	雨量観測所 1箇所 水位・流量観測所 1箇所
雄信内川	樋門・樋管	19箇所
	水文観測所	雨量観測所 4箇所 水位・流量観測所 3箇所
問寒別川	樋門・樋管	1箇所
パンケナイ川	樋門・樋管	2箇所
安平志内川	水文観測所	水位・流量観測所 1箇所
音威子府川	樋門・樋管	1箇所
ウルベシ川	樋門・樋管	1箇所
美深川	樋門・樋管	4箇所
美深6線川	樋門・樋管	1箇所
美深5線川	樋門・樋管	1箇所
仁宇布川	水文観測所	雨量観測所 1箇所
パンケニウブ川	樋門・樋管	1箇所
名寄川	水文観測所	水位・流量観測所 1箇所
	樋門・樋管	22箇所
	救急内水対策排水場	1箇所
下川パンケ川	水文観測所	雨量観測所 4箇所 水位・流量観測所 3箇所
	樋門・樋管	1箇所
サンル川	水文観測所	雨量観測所 1箇所 水位・流量観測所 1箇所
豊栄川	樋門・樋管	2箇所
排水機場		1箇所
風連別川	樋門・樋管	5箇所
タヨロマ川	樋門・樋管	15箇所
新タヨロマ川	樋門・樋管	9箇所
オーツナイ川	樋門・樋管	4箇所
初茶志内川	樋門・樋管	1箇所
剣淵川	樋門・樋管	1箇所
	水文観測所	雨量観測所 1箇所 水位・流量観測所 1箇所
辺乙部川	水文観測所	雨量観測所 1箇所
ワッカウエンナイ川	樋門・樋管	3箇所
パンケ川	水文観測所	雨量観測所 1箇所

平成16年3月現在

表2-6(2) 主な河川管理施設等（堤防を除く）

河川名	河川管理施設	箇所数
ヌプリシロマナイ川	樋門・樋管	2箇所
ベンケヌカナンブ川	水文観測所	雨量観測所1箇所
サツクル川	水文観測所	雨量観測所1箇所
似峡川	水文観測所	雨量観測所1箇所 水位・流量観測所1箇所
和寒川	水文観測所	雨量観測所1箇所

平成16年3月現在

## (3) 災害復旧

洪水や地震等により河川管理施設が被害を受けた場合は、速やかに復旧対策を行う。

大規模災害が発生した場合に、河川管理施設や公共土木施設の被災情報を迅速に収集するため、これらの施設の整備・管理等に関して専門の知識を持つ防災エキスパートを活用する。

## (4) 危機管理体制の整備

## 1) 災害時の巡視体制

河川管理施設の状況や異常発生の有無を把握するため、洪水や地震などの災害発生時及び河川に異常が発生した場合またはその恐れがある場合は、迅速かつ的確な巡視を行う。

危機管理として、ハザードマップ等のソフト対策や光ファイバーを活用した長大な天塩川の堤防管理の他に、洪水時の具体的な施策が必要ではないか。

洪水予報及び水防警報の提供および危機管理体制の確立について。各市町村洪への水予報及び水防警報の緊急連絡などについて確立がなされているのか、市町村から市街地・各集落への連絡・情報提供及び情報網は確立されているのか、現在の情報網はどうなっているのか。

## 2) 水災防止体制

地域住民、市民団体、水防団、自治体、河川管理者等が、自助、共助、公助の連携、協働を踏まえつつ、洪水時に的確に行動し、被害をできるだけ軽減するための防災体制や連絡体制の一層の強化を図る。

普段から住民同士のつながりが深まり、万一の災害時にも迅速な対応が図られることを期待する。

このため、洪水時の河川の状況や氾濫の状況を迅速かつ的確に把握して、水防活動や避難などの水災防止活動を効果的に行うため、普段から河川管理者が有する雨量や水位などの河川情報をより分かりやすい情報として伝達するとともに、地域の実情に詳しい方等から現地状況等の情報提供を受け、様々な情報を共有する体制の確立に努める。

天塩川水系河川整備計画（原案）H17.7	: 天塩川かわづくりの提言（平成14年3月） : 流域委員会における意見、 : 寄せられた意見
<p>3) 水防団等との連携</p> <p>洪水時の水防活動は水防団が主体となり実施している。水防活動を迅速かつ円滑に行うため、その主体となる自治体と関係機関、河川管理者からなる「水防連絡協議会」を定期的に開催し、連絡体制の確認、重要水防箇所の合同巡視など水防体制の充実を図る。特に、天塩川は延長が長いことから、背後地の状況を考慮し、重要水防箇所における重点的かつ円滑な水防を行うためには、関連機関と連携を図ることが重要である。また、協議会は、土砂、麻袋などの水防資機材の備蓄状況等関連する情報について共有化を図る。さらに、洪水時には、水防団等が迅速な水防活動を行えるように河川情報を提供する等の支援を行うとともに、水防団等が高齢化している現状を踏まえ、水防活動の機械化などの省力化の支援に努める。</p> <div data-bbox="476 729 1111 1156" style="text-align: center;">  </div> <p style="text-align: center;">水防工法訓練（天塩川）</p> <p>4) 洪水予報、水防警報</p> <p>天塩川及び名寄川は「洪水予報指定河川」に指定されており、気象台と共同して洪水予報の迅速な発令を行うとともに、関係機関に迅速、確実な情報連絡を行い、洪水被害の軽減を図る。</p> <p>また、水防警報の迅速な発令により円滑な水防活動を支援し、災害の軽減を図る。雨量や水位及び洪水予報などの災害に関する情報を、関係自治体、防災関係機関や報道機関と連携を図りつつ、住民に迅速かつわかりやすく提供するよう努める。</p> <p>さらに、出水期前に関係機関と連携し、情報伝達訓練を行う。</p> <p>洪水予報：洪水のおそれがあると認められるとき、旭川地方気象台と共同で洪水の状況・予測水位等を示し関係機関や市町村に伝達すると共に、メディアを通じて直接住民に知らせる情報。</p> <p>水防警報：水防活動が必要な場合に、洪水の状況・水位等を北海道・水防管理団体である市町村を通じ水防団等に水防活動の指示を与えることを目的とする情報。</p>	

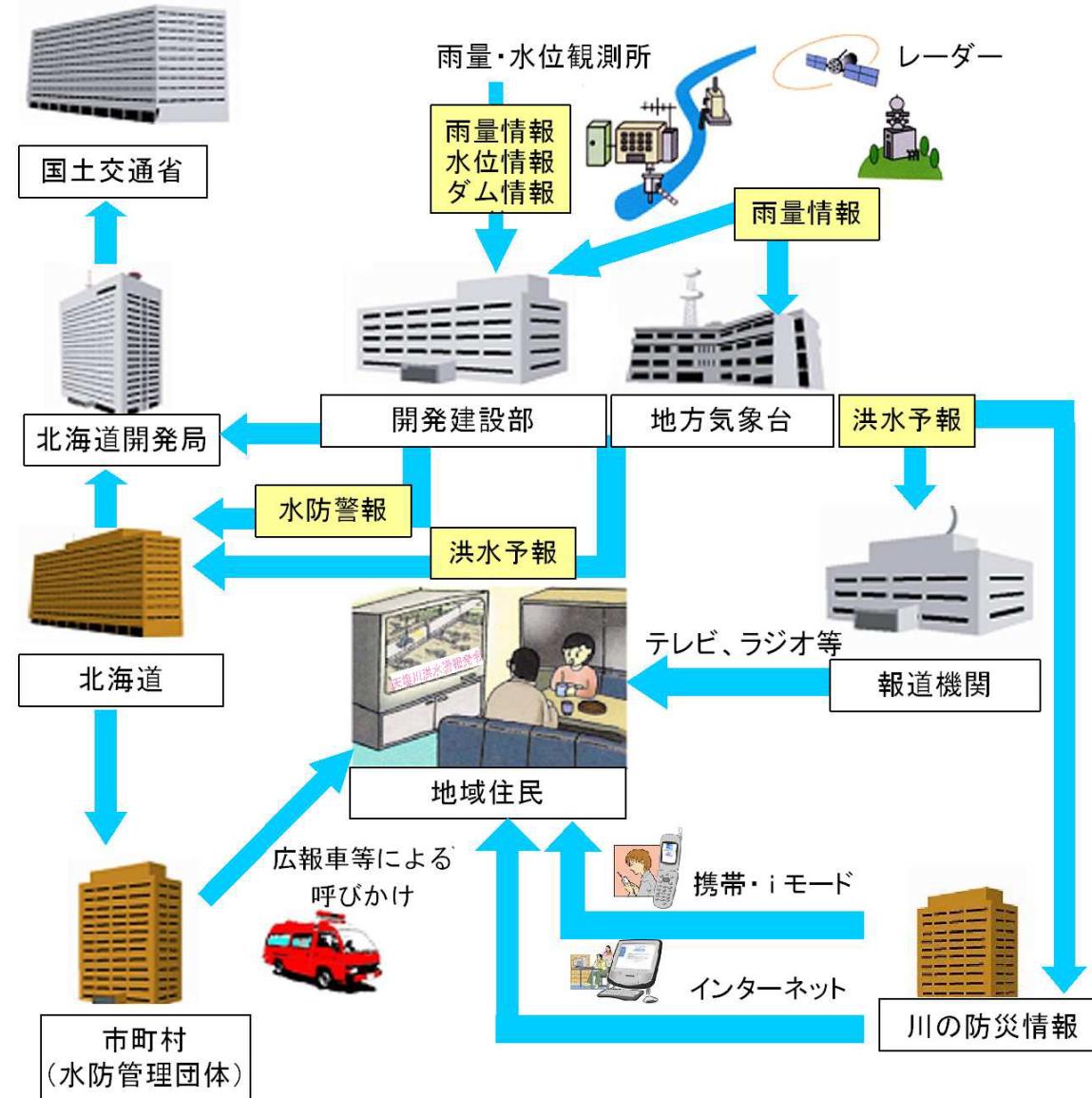


図 2-14 洪水予報の伝達のイメージ図

天塩川水系河川整備計画（原案）H17.7	：天塩川かわづくりの提言（平成14年3月）	：流域委員会における意見、	：寄せられた意見
5) 水防資機材			
水防資機材は、円滑な水防活動が行えるよう適正に備蓄する。また、定期的に水防資機材の点検を行い、資機材の保管状況を把握するとともに不足の資機材は補充する。			
6) 洪水ハザードマップ			
洪水時に適切に対応するため、各自治体の洪水ハザードマップの作成、修正、地域住民に活用してもらうための取り組み等に対し、引き続き支援・協力を行う。	各自治体においてハザードマップ等防災情報を早急に住民に提供できるよう、整備・支援が必要である。		
さらに、地域住民、学校、企業等が水害に対する意識を高め、洪水時に自主的かつ適切な行動をとれるよう、洪水ハザードマップを活用した避難訓練、避難計画検討などの取り組みに対し必要な支援・協力を行う。			
2-2-2 河川の適正な利用及び流水の正常な機能の維持、並びに河川環境の整備と保全に関する事項			
(1) 水質の保全			
水質の保全にあたっては、今後も引き続き水質監視を行うとともに、住民との協働による水質調査を実施し、水質の状況を把握する。また、「北海道一級河川環境保全連絡協議会」等を通じて情報を共有し、地域住民、関係機関等と連携を図り水質の維持に努める。	天塩川や旧川の水質を保全あるいは改善するためには、流域の人々や関係機関が連携してその対策を考える必要がある。 天塩川の下流域ではシジミ漁・増殖のためのサケ捕獲等、内水面漁業のためにも本流はもとより酪農家が点在する支流についても水質汚染状況について常に調査されることが望ましい。 河川の流入口の調査、濁度調査と対策、清流の管理		
(2) 水質事故への対応			
油類や有害物質等が河川に流出する水質事故は、流域内に生息する魚類等の生態系のみならず水利用者にも多大な影響を与える。このため「北海道一級河川環境保全連絡協議会」等を開催し連絡体制を強化するとともに、定期的に水質事故対策訓練等を行うことにより、迅速な対応ができる体制の充実を図る。			
水質事故防止には、地域住民の意識の向上が不可欠であり、関係機関が連携して水質事故防止に向けた取り組みを行う。また、定期的に水質事故対策対応に必要な資機材の保管状況を点検し、不足の資機材は補充する。			

天塩川水系河川整備計画（原案）H17.7	：天塩川かわづくりの提言（平成14年3月） ：流域委員会における意見、 ：寄せられた意見
 <p data-bbox="597 736 1009 772">油流出事故対策訓練（名寄川）</p> <p data-bbox="269 817 524 853">(3) 渇水への対応</p> <p data-bbox="269 864 1454 1123">渴水による取水制限は、制限の程度に応じて、地域住民の生活や社会活動、農業生産等に大きな影響を与える。このため既存の水利用協議会や渴水調整協議会等を活用するなどして情報を共有し、渴水時に迅速な対応ができる体制の充実を図る。取水制限が必要となった場合には、水利用協議会や渴水調整協議会等を通じ、渴水調整の円滑化を図るとともに、地域住民に対して合理的な水利用等を呼びかけるなど、流域全体での取り組みに努める。</p> <p data-bbox="269 1176 638 1212">(4) 河川空間の適正な利用</p> <p data-bbox="269 1224 1454 1302">士別市、名寄市等の市街部付近の河川空間は、地域住民の安らぎと憩いの場として利用されており、引き続きこれらの機能が確保されるよう関係自治体等と連携を図る。</p> <p data-bbox="269 1313 1454 1392">また、天塩川では全国的なカヌー大会が開催されるなど、水面利用がさかんであることから、関係機関と連携して施設の維持管理を行う等、利用の推進に努める。</p> <p data-bbox="269 1403 1454 1482">岩尾内ダム周辺については、地域の水辺空間として利用されており関係機関と連携してこの保全に努める。</p> <p data-bbox="269 1493 1454 1662">なお、北海道と共同して策定した「天塩川水系河川空間管理計画（平成2年3月）」における河川空間の管理及び整備方針に基づき、河川区域の占用許可に際しては、河川空間の適正な利用が図られるよう適切に対処する。また、社会経済情勢等の変化により、必要に応じて地域住民や関係自治体と連携し、空間管理の目標の見直しを行う。</p>	<p data-bbox="1549 833 2947 869">流域管理の視点から、利水施設間の情報伝達ネットワークの形成や弾力的運用等、合理的な水利用を推進する必要がある。</p> <p data-bbox="1549 1215 2448 1251">景観上必要な流量が記載されているが、観光の面からもう少し盛り込めないか。</p> <p data-bbox="1549 1262 3010 1347">天塩川を中心に来町者の入込の増大を図る。天塩川で、カヌー及び魚釣りをしていただき、酪農体験、森林浴と一体化したもので宿泊型の観光としてはどうか。</p> <p data-bbox="1549 1358 3010 1437">全国の人々に天塩川の開拓の物語と美しさ、そして四季の自然の美しさを見てもらうために拠点に川の駅を作つて、地域を結ぶ遊覧船を走らせて観光と地域の交流と活性化に役立つような事業が出来ればよい。</p> <p data-bbox="1549 1448 3010 1527">全国で観光を目玉にあげて造成されたダムで成功した例はないとはいえないが、聞いたことがない。岩尾内ダムも建設前、町長がかなり観光をPRしていたが、各種施設は完全にゴーストタウン化している。</p>

天塩川水系河川整備計画（原案）H17.7	: 天塩川かわづくりの提言（平成14年3月） : 流域委員会における意見、 : 寄せられた意見
<p>(5) 河川美化のための体制</p> <p>河川美化のため、河川愛護月間（7月）等を通して河川美化活動を実施すると共に、ゴミの持ち帰りやマナー向上の取り組みを行う。また、市民団体や地域住民と連携して河川空間の維持管理を進める。</p> <p>ゴミ、土砂などの不法投棄に対しては、地域と一体となった一斉清掃の実施、河川巡</p> <p style="text-align: center;">60</p>	<p>ゴミの投棄に関して、やはりパトロールの強化、罰則の改正（重刑）をするべきだと思います。又、各自治体を通じて現在の河川の状況を各世帯に配布し、理解を得ることも必要だと思います。</p> <p>名寄市は昨年も名寄川のクリーンアップ作戦を行い、河川のゴミ拾いをしている。しかし、これだけではどうにもならない。やはりパトロールの強化、罰則の改正（重罰）をするべきだと思う。又、各自治体を通じて現在の河川の状況を各世帯に配布し、理解を得る事も必要だと思う。これからも、市民に興味を持たせる、催し物や、会、研究会を各市町村ぐるみでやれたらいいと思う。ごみ等の詳細の調査は行われているか。また、処理についてはどうなっているのか。</p> <p>管理について考えるとき、目に付くのが家庭における不要になった生活用品の不法投棄である。その多くは付近の小水系に見られ、やがて天塩川に流れ出す。自分たちの生活を守ってくれる川に対する認識をあらためて、考え直したいものである。</p> <p>サンルダムはまだ建設されていないが、将来できるサンルダムやその周辺を活かしてどのようにみんなで利用するか、町づくりにどう活かしていくか、他のダムの状況も参考にしながら、熱く語り合っているところだ。</p> <p>是非個性的などこにも無いような観光資源としてのダムをダム目的の中に入れていただきたい。夢のような話になったが、是非前向きな議論や、計画をお願いしたい。この地に住む住民として子孫の代までこの地域を発展させていかなければならないなか、よろしくお願いしたいものと思っている。</p>

天塩川水系河川整備計画（原案）H17.7	：天塩川かわづくりの提言（平成14年3月）	：流域委員会における意見、	：寄せられた意見
<p>視の強化や悪質な行為の関係機関への通報などの適切な対策を講じる。</p> <p><b>(6) 地域と一体となった河川管理</b></p> <p>地域住民と協力して河川管理を行うため、地域の人々へ様々な河川に関する情報を発信する。また、地域の取り組みと連携した河川整備等により、住民参加型の河川管理の構築に努める。</p> <p>さらに、地域住民、市民団体、関係機関及び河川管理者が、各々の役割を認識し、有機的に連携・協働して効率的かつきめ細かな河川管理を実施する。特に天塩川は河川延長が長く、多くの樋門や内水排除施設等の河川管理施設を有することから、常にその機能が発揮できるように普段から市民団体、地域住民との連携を行う。</p> <p>また、少子高齢化が進み、旧来型の地域コミュニティが衰退している状況をふまえ、これら多様な主体の参加による連携・協働の取り組みを通して、河川管理にとどまらず防災、教育、社会福祉など様々な面で地域が共に助け合う地域コミュニティの再構築に寄与するよう努める。</p> <p> 河川清掃活動（天塩川）</p> <p> 子供たちによる水生生物調査（天塩川）</p>	<p>関係機関が連携し、情報交換を行いながら、天塩川の治水、利水、環境に関わる流域総合整備を推進する必要がある。</p> <p>流域の自治体、住民団体等と連携し、市町村の特徴、特色を生かした川づくりを推進する必要がある。</p> <p>リバーネット21 音威子府支部活動を知った。天塩川の環境保全や維持管理の活動をしているようである。クリーン作戦のときは、旧河川の清掃をうつ蒼と茂ったイタドリだらけの河畔で行っていた。天塩川の自然を守ることとあわせて環境や安全性も高める必要があることもわかった。</p> <p>行政と連携し安全で安心できる地域を作つてほしいと考える。</p> <p>人と川とのふれあいの場・魚にやさしい川・良好な水質の確保・天塩川らしい水辺環境等を保全するためにも、天塩川流域に住む人間として、何でも行政にお任せするのではなく、行政と連携し安全で安心できる地域をつくつていきたいと考えている。</p> <p>これからも市民に興味を持たせる催し物や会、研究会を各市町村ぐるみでやれたらいいと思う。</p> <p>厳しい経済状況のこの道北地域において新しいNPO法人として、住民自らが行政と連携して安全で安心できる地域を作つていく事が大切であり、天塩川をテーマに今後も係わつていきたいと考える。</p>		